

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立日宇小学校		作成者	職名	教頭																				
電話番号	0956-31-6904			氏名	吉田 幸代																				
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）																									
4月	実施テーマ	「セクハラ、わいせつ行為の禁止」 「情報セキュリティ対策の徹底」	「体罰禁止」 「飲酒運転の根絶」																						
取組の評価・改善点 特に、「セクハラ、わいせつ行為の禁止」に関して、校長による講話、自己分析チェックシートを実施し、職員の当事者意識を高めた。また、「情報セキュリティ」に関する校内の取組や遵守事項を全職員で確認し、情報を正しく管理するための意識を高めた。																									
10月	実施テーマ	「体罰禁止」 「飲酒運転の根絶」	「セクハラ、わいせつ行為の禁止」																						
取組の評価・改善点 SLを講師として招聘し、研修会を行った。SLの役割や教職員の対応に関する注意事項について御指導いただいた。「体罰禁止」の観点から、児童についての共通理解を図ることや、個に応じた指導の在り方、教師が抱えこみ過ぎないことについて共通認識を持った。																									
12月	実施テーマ	「体罰禁止」 「公金等不正処理の防止」	「情報セキュリティ対策の徹底」																						
取組の評価・改善点 昨年に引き続き、日宇中学校より生活指導主任および研究主任を講師として招聘し、小中連携の観点で情報交換会を行った。特に、進路指導についての話から、本校児童の学習指導に役立つ情報を得ることができた。「体罰禁止」の観点から、児童へ適切に指導すべき事柄について、職員で確認することができ、有意義であった。																									
2 服務規律委員会																									
委員会名	服務規律委員会																								
構成員	所属内委員（6名）、外部委員（4名 役職等：PTA会長、学校評議員3名）																								
3 年間を通しての計画の達成状況																									
年間を通しての取組状況チェックリスト																									
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）																									
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>ア</td> <td>イ</td> <td>ウ</td> <td>オ</td> <td>キ</td> <td>ク</td> <td>ケ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="10">その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）</td> </tr> </table>							ア	イ	ウ	オ	キ	ク	ケ			その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									
	ア	イ	ウ	オ	キ	ク	ケ																		
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）																									
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。																									
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった																
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった																						
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。																									
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった																
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった																						
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。																									
<table border="1"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 不十分だった</td> <td>() 実施していない</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない																
(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない																						

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
	<p>校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。</p> <p>校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。</p>
	<p>【工夫（例）】</p> <p>ア 運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。 <p>イ 具体的な事例の紹介</p> <ul style="list-style-type: none">・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。 <p>ウ 外部講師を招いての講話</p> <p>エ 体験的な研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ロールプレイを取り入れる。 <p>オ グループ討議</p> <ul style="list-style-type: none">・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。 <p>カ ワークシートの作成</p> <ul style="list-style-type: none">・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。 <p>キ チェックリストを作成</p> <ul style="list-style-type: none">・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。 <p>ク ファイリングして保存</p> <ul style="list-style-type: none">・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。 <p>ケ 決意表明</p> <ul style="list-style-type: none">・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。 <p>コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組</p> <ul style="list-style-type: none">・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。